

地域医療

【研修目標】

一般目標 GIO:

地域住民の医療に対するニーズを立脚した診療を行うために、地域での医療・福祉・介護の資源を理解し、地域住民の生活背景を思い遣る気持ちを持ち、多職種のリーダーとして行動する。

行動目標 SBOs

- 1) 頻度の高い慢性疾患患者を外来管理ができる。(解釈)
- 2) 在宅患者・家族の心情に共感する態度を示す(態度)
- 3) 患者の社会的背景を配慮する。(問題解決)
- 4) 福祉・介護職へ適切に指示ができる。(問題解決)
- 5) 頻度の高い疾患の初期診療とトリアージができる。(解釈)
- 6) 患者・家族の入院前、入院中、退院後の具体的な生活支援について配慮する。(態度)
- 7) 他科、他院へ適切なタイミングで紹介できる。(問題解決)
- 8) 在宅生活の為に並存する疾患と社会的背景を網羅した適切な診療情報提供書を作成できる。(技能)
- 9) 適切な社会的支援についての書類(身体障害者・特定疾患・介護保険 等)を作成する。(技能)
- 10) 地域の医療、保健、福祉資源役割を述べる。(想起)
- 11) 地域で保健、予防活動を主宰できる。(技能)
- 12) 死亡診断・宣告・死亡診断書作成を適切に行う。(技能)

【研修方略】

研修期間 : 2年次 4週間

研修内容 :

- ・ 1週間を篠島内に滞在宿泊し、知多厚生病院篠島診療所にて診療を行う。
住民に対して自身でテーマを決定し、講演を通じ保健活動を行う。
- ・ 1週間を地域で家庭医の役割を担う小笠原クリニックか名駅ファミリアクリニックにて診療所での外来診療を行う。
- ・ 1.5週間を地域で家庭医の役割を担う加藤胃腸科内科とびしまこどもクリニックにて診療所での外来診療及び併設の介護老人保健施設にて診療を行う。
- ・ 0.5週間を地域で家庭医の役割を担う前田ホームクリニックにて診療所での外来診療及び在宅患者の診療、往診を行う。

方略	SBOs	方法	人数	場所	時間	媒体	指導者・協力者
1	1～7 10・12	実務研修	1人	患者宅	適宜		指導医・患者・家族
2	8・9	実務研修	1人	外来		模造紙	指導医
3	2・3・ 4・6	カンファレンス	1人	患者宅	30分		指導医・ケアマネージャー, MSW
4	1～9	実務研修	1人	診療所	適時		指導医・看護師・患者
5	11	実務研修	1人	診療所・講堂	適時		保健師・住民
6	9・10	講義	1人	カンファ室	60分	PC・プリント	指導医
7	12	シミュレーション	1人	カンファ室	60分		指導医

週間スケジュール :

篠島診療所

	月	火	水	木	金
午前	外来診療	外来診療	外来診療	外来診療	外来診療
午後	外来診療	訪問診療	外来診療	保健講話	

小笠原クリニック

	月	火	水	木	金
午前	外来診療	外来診療	外来診療	外来診療	外来診療
午後	外来診療	外来診療	外来診療	保健活動	外来診療

加藤胃腸科内科とびしまこどもクリニック

	月	火	水	木	金
午前	外来診療	外来診療	外来診療	外来診療	外来診療
午後	施設診療	施設診療	施設診療	施設診療	施設診療
	月	火	水	木	金
午前	外来診療	外来診療	外来診療		
午後	施設診療	施設診療	施設診療		

※初日月曜日の午前は施設案内

前田ホームクリニック

	月	火	水	木	金
午前				外来診療	外来診療
午後				訪問診療	訪問診療

名駅ファミリアクリニック

	月	火	水	木	金
午前	外来診療	外来診療	外来診療	外来診療	外来診療
午後	外来診療	小児予防接種・ 乳児検診 外来診療	外来診療		小児予防接種・ 乳児検診 外来診療

【研修評価】

SBOs	領域	目的	方法	測定者	時期
1	解釈	形成的	観察記録	指導医	適宜
2	態度	形成的	観察記録	指導医・看護師	適宜
3	問題解決	形成的	観察記録	指導医・ケアマネ	適宜
4	問題解決	形成的	実地試験	指導医	適宜
5	解釈	形成的	実地試験	指導医	適宜
6	態度	形成的	観察記録	指導医・ケアマネ	適宜
7	問題解決	形成的	観察記録	指導医・照会先医師	適宜
8	技能	形成的	観察記録	指導医	適宜
9	技能	形成的	実地試験	指導医	適宜
10	想起	形成的	口頭試験	指導医	方略6終了時
11	技能	形成的	実地試験	住民	方略5終了時
12	技能	形成的	観察記録	指導医	方略7中
13	技能	総括的	OSCE	指導医	方略7終了時

協力施設

JA 愛知厚生連 知多厚生病院 篠島診療所

小笠原クリニック

加藤胃腸科内科とびしまこどもクリニック

前田ホームクリニック

名駅ファミリアクリニック